

李登輝元総統の死

みなさんは外国の政治家の名前をいくつか言えますか？アメリカの大統領の名前とかが一番知られているかもしれませんが。李登輝さんは台湾の政治家です。最近台湾と言えば、ITを駆使した新型コロナウイルス感染対策でニュースになりましたね。

私が台湾に行ったのは、30年近く前の1991年の冬でした。当時多くの国際線は成田発着だったのに、台湾行きの飛行機は羽田空港発でした。首都台北の街角で「中華民国全図」という地図を買ったら、台湾だけでなく中国全土の地図でした。中国の国名は中華人民共和国ですよ。このあたりのちょっと？なことを説明するために、少し歴史の話をしたと思います。

中国がむかし清という国名だったことは知っていますよね。日本は1894年に清と戦争をしています。日清戦争です。この時日本に敗戦した清が、下関条約で日本に国土の一部を譲りましたが、その一つが台湾です。日本の植民地となり、台湾総督府が置かれました。（私が最初に勤めた高校は古い学校だったので、社会科教室にあった鉱物標本や植物標本には、台湾総督府産などと書かれたものもありました。）

その後清王朝が滅亡し、中国には中華民国が成立して国民党の勢力が強くなりますが、一方地方では中国共産党の勢力も大きくなり、両者は対立するようになります。日本との戦争に勝つために協力（国共合作）した時期もあるのですが、日本が第2次世界大戦に敗れて台湾から撤退する頃には再び対立を深め、中国は内戦状態になりました。結果として内戦に敗れた蒋介石率いる国民党の勢力は台湾に逃れて中華民国の国名を引継ぎ、中国の正統な継承国であると主張します。一方毛沢東率いる共産党は中国本土を掌握し、1949年に中華人民共和国の成立を宣言しました。

私が小学校の頃には、国際的に中国と言えば台湾にある中華民国政府のことを指し、国連の常任理事国でもありました。中華人民共和国は国際的には認められておらず、日本から一般の人は行くことができませんでした。

ところが1972年にアメリカの大統領ニクソンが中華人民共和国の首都北京を訪問して外交関係を開始、日本もそれに続きます。反対に台湾（中華民国）は中国の継承国家ではなくなり、国際的にも国として認められなくなりました。ただ、多くの国と通商関係は続きましたから、実質的に「二つの中国」という状態になったのです。最初の？の背景にはこのようなことがあったのです。

台湾の中華民国政府は、蒋介石のあとその息子が総統になりましたが、その後はじめて台湾生まれ人で総統となったのが李登輝です。李登輝は日本統治下で生まれ育ったので、日本語が堪能で、現在の京都大学農学部を卒業しています。その後アメリカのコーネル大学で農業をさらに学び、農業経済の専門家として政府に重用されました。総統になってからは経済開発政策を推進し、韓国、シンガポール、香港と並んで、台湾は「アジアのNIEs（新興工業地域）」と呼ばれました。また、総統の直接選挙制を実施するなど、民主主義的な政治制度をつくりました。

私が台湾に行ったのはまさにそんなときで、高速道路を走るバスから建設中の工業団地がちらちらに見え、都市には人とモノがあふれ活気に満ちていました。その一方で、山間部の地域には昔ながらの農村が広がり、中国本土からの移住民でない台湾の原住民族の人たちの暮らしぶりもみることができました。

私が乗ったバスの男性のガイドは、退職した元小学校の先生でしたが、日本語が話せるだけでなく、日本人は軍歌が好きという思い込みがあるのか、話のネタに詰まると軍歌を歌っていました。

ところで、最近のニュースで香港でのデモのことがありましたが、香港とはどんなところかご存じですか？香港は中国本土に隣接した狭い地域ですが、ここは元はイギリスの植民地だったところです。中国に返還されるときに、香港の人たちの自治をしばらくは認めながら、徐々に中国領として政治的な統合を図るということになっていきましたが、統合に向けた中国の圧力が強いのか、反対する人が多くて対立していますね。香港は多くの国の銀行や証券会社が進出し、アジアの金融センターと呼ばれています。

台湾も香港も元は中国の一部でありながら、その後の歴史の中でイギリスやアメリカ、そして日本などとの関わりの中から、「境界地域」として、危うい位置ながら、その境界にあることのメリットを生かして発展してきました。台湾は常に中国の軍事的圧力を受けていますが、それに対抗するために外国の軍事的影響力を背後につけてきました。そして、中華人民共和国と世界各国が国交を樹立した後も、大使館機能を持つ建物（日本の場合は亜東関係協会、現在は台湾日本関係協会）を維持し、通商関係や政治関係の悪化を防いできました。

中国だけでなく、第2次世界大戦後は、朝鮮半島、ベトナムなどで国土が分断されて複数の国家ができ、ここでは激しい内戦がありました。境界地域では、政治家の外交手腕が大切になります。周辺の国々との関係を維持して紛争をうまく回避しながら、境界にあることの利点を活かして、貿易や外交で稼いでいく。李登輝元総統は、たんに日本語が堪能で日本びいきな政治家ただでなく、中国やアメリカと渡り合いながら台湾の発展を巧みに指揮したリーダーだったことから、日本でも評価が高く、その死を悼むニュースが大きく流れたのだと思います。

「板ばさみ」とか「間に立たされる」というのは、人間関係上厳しい位置にいることを指しますが、そんなピンチなときこそ、もしかすると大きなチャンスなのかもしれません。皆さんの人間関係においても、たぶん同じなのではないでしょうか。

新型コロナウイルスの感染拡大が本校の足元に迫ってきています。

うがいや手指の消毒のみならず、飛沫感染を防ぐために、次の時間帯に特に注意してください。

- ①昼食時に車座になったり、対面してお弁当を食べたりするのはやめてください。
 - ②部室では必ずマスクを着用し、長時間の話し合いをしないでください。
 - ③下校時に昇降口前で自転車を止め、マスクをせずに待ち合わせをするのはやめてください。
- 濃厚接触者と認定され PCR 検査を受検することになった場合は、すみやかに学校に連絡をしてください。